

平成31年度 優秀実践校
越知町立越知小学校

都道府県名: 高知県
住所: 高岡郡越知町越知甲1963-1
電話番号: 0889-26-1101
児童数(生徒数): 192名
教職員数: 17名

地域の概要: 越知小学校は、高知県のほぼ中央を北西から南東に流れる清流仁淀川の中流域に位置し、北西には日本で最も古い化石が発見された横倉山がそそり立ち、自然豊かな環境にある。横倉山は、高知県が生んだ世界的な植物分類学者、牧野富太郎博士が本格的に植物学の研究を始められた場所でも知られている。現在、越知町は、保育園、幼稚園、小学校、中学校が各1校となり、保・幼・小・中の連携教育を推進している。

①学校の紹介

蔵書数:1万945冊

学校司書の有無:無

勤務形態:学校図書館支援員 常勤

司書教諭の有無:無

教育目標・読書活動に関する目標、標語など:

① 学校教育目標

仁淀川のように清らかに、横倉山のようにたくましく

② 研究主題

自ら学び豊かに考える子どもを育て～対話を通して、確かな力につなぐ子どもも手画型の授業～

③ 学校図書館目標

○読書活動を推進し、豊かな人間性を育て。

○学校図書館の様々な資料にふれ、学校図書館の機能(読書センター・学習センター・情報センター)を理解し、活用できるようにする。

○多様な資料の中から、目的に応じた情報を選び、課題解決を図ることができる情報活用力を育成する。



国語科 授業からの様子だが



図書委員会による新刊紹介

②読書活動の取組

①定期的に行われている活動

・町立図書館等との連携

町立図書館と連携し県や市立図書館などから、児童や学習のニーズに対応した本を豊富に集めることによって、授業の幅を広げている。読んでみたい本をリサーチカードでリクエストすると、町立図書館を介して他の図書館より借りることができる。円滑な連携が進められるよう定期的な情報交換会を実施している。

・授業等に活かす取組

図書館や新聞などの言語資料等を日常的に利用し、読書領域の広がりや探究活動の授業に生かせるようにしている。具体的には、国語辞典は3年生以上、漢字辞典は4年生以上、百科事典「ポプラディア」は3年生以上、ことわざ辞典は3年生以上、社会科事典は5年生以上の児童一人一冊を各教室に配置し、授業ですぐに活用できるようにしている。委員会活動では、積極的に図書委員を希望する児童も多く、図書主任及び図書支援員と共に、常時活動はもちろん、集会活動での工夫した新刊紹介や時期に応じた楽しい掲示など児童主体の活動が行われている。

・朝読書

10年以上前から全校で実施している。毎週水曜日は、地域ボランティアによる「読み聞かせ」を実施、令和元年度で21年目を迎えている。

②イベント的に行われている取組の概要

・図書館では、季節や各学年の教科内容等の時期に応じて、本の紹介やクイズコーナーを設けている。

・読書会の開催、セカンドブックの配付(小学校1年生)

・平成27年度より、ショートコメント、読書感想文の書き方、百科事典の使い方などについて赤木かん子先生による授業を継続実施している。

・平成28、29年度に見直した「総合的な学習の時間」と関連づけた「図書館教育計画」に添った授業実践を継続して取り組んでいる。

③ 成果

・取組を継続していくことで、教員が図書館利用を意識した単元計画を立てるようになり、児童の活動を問題解決から探究活動へと学習の質を引き上げることにつながっている。

・学年読書目標を設定し、読書活動の推進を継続することで、校内で図書室の活用や教室等での調べ活動が当たり前の光景となり、学習の積み上げが見られる。

・本校の教科横断的な学び方を重視した実践研究と学校図書館教育が共に関連し合いながら、児童の豊かな学びを高め、本校の学力向上にもつながってきている。